

第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会
兼 第39回全九州高等学校囲碁選手権福岡大会
兼 第19回全国高等学校選抜囲碁大会九州ブロック大会

囲碁部門実施要項

- 1 目的 囲碁を通じて思考を鍛錬し社会文化に貢献できるようにする。また、お互いの親睦と理解を深め、文化活動の健全な発展に資するようにする。
- 2 主催 九州高等学校文化連盟、福岡県高等学校芸術・文化連盟
- 3 共催 福岡県教育委員会
- 4 後援 福岡市教育委員会、福岡県公立学校長協会、福岡県私学協会、
福岡県高等学校芸術科研究会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社
- 5 主管 九州高等学校文化連盟囲碁専門部、福岡県高等学校芸術・文化連盟囲碁専門部
- 6 参加資格 九州各県高文連加盟校に在籍する生徒で、各県から推薦された者
- (1) 団体戦 男女とも各県2チームまで
(ただし、各県の申込状況により、福岡県は4チームまで)
- (2) 個人戦 男女とも各県3人まで
(ただし、各県の申込状況により、福岡県は6人まで)
- ※団体戦と個人戦19路盤戦の重複出場はできないが、9路盤戦との重複は認める。
 ※女子団体戦は混成チームを認めることがある。
 ※参加者数が不足の時は、補欠チーム、補欠選手出場を認めることがある。

7 日時・会場・日程

第1日 12月13日(金) 会場：福岡市民会館	第2日 12月14日(土) 会場：純真学園大学	第3日 12月15日(日) 会場：純真学園大学
13:00～14:00 総合開会式	9:00～9:20 9路盤戦受付 9:20～11:40 9路盤戦 12:00～12:40 19路盤戦受付 12:45～13:10 開会式 13:20～17:00 1回戦～3回戦	8:45～8:55 受付 9:00～11:55 4、5回戦 11:55～12:40 表彰準備 12:40～13:10 表彰式、閉会式

会場住所等 福岡市民会館 福岡市中央区天神5丁目1-23
 純真学園大学 福岡市南区筑紫丘1-1-1

- 8 表彰 男女団体戦、男女個人戦(19路盤の部)とも第6位まで表彰する。
 男女9路盤戦は3位まで表彰する。

9 競技方法

【9路盤戦】

- ・対局はオール互先・先番6目半コミだし。持ち時間は5分とし、時間を使い切った後は秒読み10秒とする。
- ・組合せ及び順位付けは、4回戦のスイス方式を適用する。
- ・選手が遅刻した場合、遅れた時間を本人の持ち時間から減ずる。ただし、3分以上の遅刻は不戦敗とする。

【19路盤戦】

- ・対局はオール互先・先番6目半コミだし。持ち時間は35分とし、時間を使い切った後は秒読み10秒とする。
- ・組合せ及び順位付けは、5回戦のスイス方式を適用する。(但し、団体戦で参加チームが13チーム以下、個人戦で参加者数が13人以下の場合は、4回戦のスイス方式を適用する)。
- ・選手が遅刻した場合、遅れた時間を本人の持ち時間から減ずる。ただし、20分以上の遅刻は不戦敗とする。

10 その他

卒業年次に該当しない本大会成績上位者については、高等学校文化連盟全国囲碁専門部主催の「第19回全国高等学校選抜囲碁大会」へ推薦する。

ただし、個人戦(9路盤戦)と個人戦(19路盤戦)の成績上位者が重複した場合、個人戦(19路盤戦)を優先し、個人戦(9路盤戦)は繰り上げて推薦をする。

11 競技進行に関する注意事項

(1) 手合いと先手後手の決定

先手後手は「握り」で決定する。

団体戦は、主将が握りで白黒を決め、主将が黒番の時、副将は白番、三将は黒番とする。

(2) 対局時計

対局時計を用い、その置く位置は白番が決める。時計は石を打った方の手で押すこととする。

(3) 持ち時間

持ち時間は、競技方法に準ずる。時間が切れると形勢にかかわらず負けになる。アゲハマとして石を取り上げるときは、ポーズボタンを押して時計を止め、石を取ってもよいものとする。

(4) スイス方式の順位決定方法

(a) 勝ち数の多い選手を上位とする。

(b) 勝ち数が同じ場合は、対戦した相手の勝ち数の総和(以下「SOS」という)が多い選手を上位とする。

(c) SOSが同じ場合は、対戦した相手のSOSの総和(以下「SOSOS」という)が多い選手を上位とする。

(d) 団体戦でSOSOSが同じ場合は、3名の勝ち局数の和の多いチームを上位とする。

(e) (c)および(d)でも同順位の場合は、直接の対戦がなされていればその勝者を上位とする。それでも決定しない場合は同順位とする。ただし、全国大会への出場に関わる場合は抽選で代表を決定する。

(5) 反則

対局相手に以下の行為があった場合反則勝ちとなる。該当者は時計を止め速やかに審判員に申し出ること。

ただし、対局者が反則を指摘しないと反則にならない。

(a) 対戦相手以外の助言を受ける。

(b) 禁じ手や2手連続の着手

(c) 待った(碁石から手を離したら、打ち直しはできない)

(6) 大会での取り決め

(a) 対局相手の時計の押し忘れを教えない。

(b) 写真撮影は対局開始5分以内とする。

(7) 対局マナー

以下の行為は慎み、正々堂々と対局すること。

(a) 対局者以外の者が声をかけること。

(b) 対局中の飲食(ただし、飲み物に関しては蓋のついている容器に入っているものの水分補給は認める)

(c) 対局場で騒がしくすること。

(8) その他

問題が生じた場合は時計を止め、対局を中止し速やかに審判員に申し出で、判定を審判長に一任する。

また、審判長は、選手の申し出によらず裁定を行うことがあります。